

るようでした。

高橋

黒川地区も、白石市にも我々が説明をしに行きましたよね。

小松

そうですね。行きましたよね。

村岡・武田・菅原

行ったね。

築場

皆様がおっしゃられるように、介護分野だけでな

く、障害分野への広がりや、全県へと取組が広がり、さらなる地域包括ケアの推進につながられるよう、県といたしましても努力して参りたいと存じます。

連携とは、協働するために「つながる」手段であり、協働には「つながる」だけでなく「共通した目的・目標」「協力過程」「新たなものの生成」が要素としてあると言われています。お話を伺ってまさに、皆様がこの地域で実践された活動そのものだなと思います。本日は貴重なお話をありがとうございました。



後列左から 熊谷（保健師）、高橋（保健師）、築場（保健師）
前列左から 小松（介護支援専門員）、村岡（医師）、森田（医師）、菅原（歯科医師）、武田（薬剤師）
（敬称略）

★気仙沼圏域で運用されている医療と介護の連携に関するツールについて

- 1) 医療機関(医師・歯科医師・薬剤師等)とケアマネジャー等の連携連絡票（平成25年10月から運用）
- 2) 医療機関発信用 医療機関（医師・歯科医師・薬剤師・看護師等）とケアマネジャーの連携連絡票（平成28年4月から運用）
- 3) 入院時情報提供の手引き（平成27年4月から運用）
- 4) 退院へ向けた気仙沼市立病院と介護支援専門員との連携の手引き（平成27年11月から運用）
- 5) 介護保険施設（特養・老健）入所に係る共通健康診断書（平成30年1月から運用）

●これらのツールは下記のホームページからご覧いただけます。

（宮城県気仙沼保健福祉事務所（気仙沼保健所）成人・高齢班）

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-health/k-iryoku-kaigo.html>